

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	コミュニティ創生の推進	個別事業掲載No	生 — 1
-----	-------------	----------	-------

当初計画	<p>【事業概要】 住民同士による新たな「共助」と「協働」により、地域の多様な課題を地域で解決していく「コミュニティ創生」の取り組みについて、プロジェクト・チームにおける調査・検討（内容①エリア・スタディ（対象地域：大沢地区）②地域と学生との連携③地域自治組織へのアンケート調査）の活動を通して推進する。「がんばる地域応援プロジェクト」を活用し、町会などの地縁型組織とNPOなどのテーマ型組織との連携による新たな協働関係の創出や、町会・自治会の未組織地域における地域自治組織の結成を支援する。また、住民協議会が実施する多世代交流事業などコミュニティ創生に向けた事業や地域の活性化につながる事業に対して支援を行う。</p> <p>【事業量】 ・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム会議の開催（3回） ・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム報告書の作成 ・地域自治組織へのアンケート及びヒアリングの実施 ・がんばる地域応援プロジェクト事業の実施（説明会・選考委員会等） ・住民協議会活性化事業支援助成金の交付</p>																																																																							
	<table border="1"> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td colspan="11">○<コミュニティ創生>プロジェクト・チーム及びワーキング・チームによる活動</td> <td>○報告書作成</td> </tr> <tr> <td colspan="11">○<がんばる地域応援プロジェクト>地域自治組織へのアンケート調査及びヒアリング実施</td> <td>○調査報告書作成</td> </tr> <tr> <td colspan="11">○説明会、募集、選考委員会の実施</td> <td>○事例集作成</td> </tr> <tr> <td colspan="11">○事業の実施</td> <td>○発表会及び交流会の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="11">○<住民協議会活性化への支援>推進（通年）</td> <td></td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	○<コミュニティ創生>プロジェクト・チーム及びワーキング・チームによる活動											○報告書作成	○<がんばる地域応援プロジェクト>地域自治組織へのアンケート調査及びヒアリング実施											○調査報告書作成	○説明会、募集、選考委員会の実施											○事例集作成	○事業の実施											○発表会及び交流会の実施	○<住民協議会活性化への支援>推進（通年）										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																													
○<コミュニティ創生>プロジェクト・チーム及びワーキング・チームによる活動											○報告書作成																																																													
○<がんばる地域応援プロジェクト>地域自治組織へのアンケート調査及びヒアリング実施											○調査報告書作成																																																													
○説明会、募集、選考委員会の実施											○事例集作成																																																													
○事業の実施											○発表会及び交流会の実施																																																													
○<住民協議会活性化への支援>推進（通年）																																																																								
成果目標	<p>・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム報告書の作成 ・地域自治組織のアンケート調査の報告書の作成 ・がんばる地域応援プロジェクト事例集の作成 ・各住区のコミュニティ活動の活性化及びコミュニティ・センターの利用者増加</p>																																																																							

中間評価	<p>上半期の実績・課題等 コミュニティ創生検討プロジェクト・チームの活動は、5月28日に第1回会議を開催し、①エリア・スタディ（大沢地区）②地域と学生③地域自治組織へのアンケート調査、の3つにテーマを決定した。これにより、ワーキング・チームによる活動を開始した。また、地域自治組織へのアンケートについては、アンケート内容を確定した。なお、ヒアリングについては、アンケートを提出していただいた団体から随時進める。がんばる地域応援プロジェクトでは、4月14日に説明会を開催し7月16日に選考委員会を実施。選考の結果、全団体（12団体）が採択となった。</p>
	<p>事業評価審査会特記意見</p> <p>政策会議 評価・意見等</p>
	<p>主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする</p>

事後評価	<p>【コミュニティ創生の研究】 コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム会議の開催（3回）、ワーキング・チームの開催（活動7か月間）、コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム報告書の作成 【がんばる地域応援プロジェクト】 説明会の開催、選考会の開催、発表会・交流会の開催、事例集の作成 【住民協議会活性化への支援】 住民協議会活性化事業支援助成金の交付</p>																																																												
	<table border="1"> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td colspan="11">○<コミュニティ創生>プロジェクト・チーム及びワーキング・チームによる活動</td> <td>報告書作成○</td> </tr> <tr> <td colspan="11">○<がんばる地域応援プロジェクト>地域自治組織へのアンケート調査及びヒアリング実施</td> <td>中間報告書作成 ○</td> </tr> <tr> <td colspan="11">○説明会、募集、選考委員会の実施 ○事業の実施</td> <td>発表会、交流会の実施○ 事例集作成 ○</td> </tr> <tr> <td colspan="11">○<住民協議会活性化への支援>推進（通年）</td> <td></td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	○<コミュニティ創生>プロジェクト・チーム及びワーキング・チームによる活動											報告書作成○	○<がんばる地域応援プロジェクト>地域自治組織へのアンケート調査及びヒアリング実施											中間報告書作成 ○	○説明会、募集、選考委員会の実施 ○事業の実施											発表会、交流会の実施○ 事例集作成 ○	○<住民協議会活性化への支援>推進（通年）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																	
	○<コミュニティ創生>プロジェクト・チーム及びワーキング・チームによる活動											報告書作成○																																																	
○<がんばる地域応援プロジェクト>地域自治組織へのアンケート調査及びヒアリング実施											中間報告書作成 ○																																																		
○説明会、募集、選考委員会の実施 ○事業の実施											発表会、交流会の実施○ 事例集作成 ○																																																		
○<住民協議会活性化への支援>推進（通年）																																																													
<p>成果目標の達成状況 【コミュニティ創生の研究】 ワーキング・チームでの調査・研究の実施（メンバー18人※うち1人住民協議会事務局職員）、報告書の作成 【がんばる地域応援プロジェクト】 実施団体12団体、事例集の作成・配布（1,500部） 【住民協議会活性化への支援】 コミュニティ・センター利用者数は、前年度比34,763人増の709,132人、多世代交流事業への助成金交付（30万円）</p>																																																													
<p>事業の総括（主管課） コミュニティ創生検討プロジェクト・チームにおいて、3つのテーマを設定し、ワーキング・チームによる調査・研究を実施した。なお、地域自治組織へのアンケート調査及びヒアリング実施については、継続してアンケート回収及びヒアリングを行い次年度において、報告書にとりまとめる。 がんばる地域応援プロジェクトは、今年度も引き続き町会・自治会の未組織地域を含めた地域自治組織を対象とし、12団体の事業を採択した。地域の実情に応じた取り組みや多世代の参加を促す取り組みなどにより地域に新たな活力をもたらしていることから一層PRに努めていく。 三鷹市井の頭地区住民協議会が実施する「多世代交流事業」に対し、昨年度に引き続き助成金を交付し、住民協議会活性化事業の支援を行った。</p>																																																													
<p>事業評価審査会評価・意見等 多世代交流の取り組みについては、井の頭住民協議会での成果を検証したうえで、拡充等について検討すること。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="4">予算執行</th> <th colspan="2">30年度予算</th> <th colspan="2">30年度実績</th> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>2,441千円</td> <td>2,441千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>1,805千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td></td> <td></td> <td>73.9%</td> </tr> </table>	予算執行	30年度予算		30年度実績		予算額	2,441千円	2,441千円		決算額		1,805千円		執行率（%）			73.9%																																												
予算執行		30年度予算		30年度実績																																																									
		予算額	2,441千円	2,441千円																																																									
		決算額		1,805千円																																																									
	執行率（%）			73.9%																																																									
<p>主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）</p>																																																													

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		ものづくり産業等の集積・強化及び都市型産業誘致の推進											
個別事業掲載No		生 — 2											
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 東京都の補助制度を活用し、事業者の市内工業系用途地域等への移転に伴う新工場整備費用や住工混在地区における周辺環境へ配慮した工場の改修等に係る費用への補助を行うほか、「三鷹市都市型産業誘致条例」の周知活動等を強化し、優良企業の誘致を推進する。市が所有する日本無線(株)三鷹製作所跡地については、4区画中残る1区画の売却先事業者を決定し、全4区画について10月に引渡しを行う。また、「ものづくり産業活性化ネットワーク委員会」の活動やミタカフェの運営を支援する。さらに、国の交付金を活用してファブスペースみたかを運営し、多様な働き方につなげていく場として更なるPRを行うほか、自主的な運営体制の構築に向けて、株式会社まちづくり三鷹と協議する。</p> <p>【事業量】 ・ものづくり産業集積促進事業助成金などの交付 ・「ものづくり産業活性化ネットワーク委員会」の活動支援 ・日本無線(株)三鷹製作所跡地の売却先事業者の決定及び跡地の引渡 ・都市型産業誘致条例に基づく新たな指定企業の誘致と既存指定企業への助成 ・ミタカフェやファブスペースみたかの運営支援</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成果目標	<p>○ものづくり産業集積促進事業・ものづくり企業地域共生推進事業の推進 →</p> <p>○ミタカフェ、ファブスペースみたかの運営支援 →</p> <p>○日本無線(株)跡地プロポーザルの実施(2回目) ○業者決定 ← → ○跡地引渡</p> <p>○「ものづくり産業活性化ネットワーク委員会」の活動支援 →</p>											
	成果目標	<p>・ものづくり産業の市内移転を含む操業継続(7社) ・優良企業の誘致(指定企業1社) ・日本無線(株)三鷹製作所跡地(4区画)の契約締結と引渡 ・「ものづくり産業活性化ネットワーク委員会」参加者数の増加 ・SOHOを含む多様な起業者の増加 ・ファブスペースみたか利用者の増加</p>											
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>ものづくり企業地域共生推進事業費助成金は、防音1件の利用実績があった。日本無線(株)三鷹製作所跡地については、2回目のプロポーザルを実施し、全区画について売却先予定事業者が決定した。10月の引渡しに向け工事・事務手続を進める。都市型産業の誘致については、指定申請に関する問い合わせ1件に対応中である。また、ものづくり産業活性化ネットワーク委員会は、3回実施し、視察会や他業種連携によるものづくりの試みを始めた。</p>											
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p>											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							
事後評価	【事業量の実績】	<p>・ものづくり企業地域共生推進事業：1件(操業環境改善 工場の防音工事) ・「ものづくり産業活性化ネットワーク委員会」における太陽系ウォーク景品の制作(宇宙棒) ・日本無線(株)三鷹製作所跡地C地区の2回目のプロポーザルの実施により、全4区画を売却 ・ファブスペースみたかの運営 会員数314人、みたかFabコンテストの出品者59人 ・ミタカフェ(コワーキング)利用者の増加 利用者数計6,146人</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成果目標の達成状況	<p>・事業継続のための周辺環境に配慮した工場改修、設備更新や耐震補強等に伴う費用を支援する「ものづくり産業地域共生推進助成金」を活用した工場の防音工事1件及び都市型産業誘致条例に基づき、既に指定している3事業者(5件)への支援を行った。 ・日本無線(株)三鷹製作所跡地C地区について、平成29年度に引き続き2回目のプロポーザルを実施し、全4区画について売却を行った。 ・ものづくり産業活性化ネットワーク委員会は8回開催し、25人が活動した。 ・ファブスペースみたかは平成31年3月31日現在会員数が314人であり、前年比86人増となった。</p>											
	事業の総括(主管課)	<p>ものづくり企業地域共生推進事業については、計画数には達しなかったが、一層の制度周知を図り市内事業者の操業継続を支援する。また、都市型産業誘致条例についても平成30年度の新規指定はなかったが、既に指定している3事業者(5件)への支援を行った。令和元(2019)年度は新たに1事業者への支援を開始するとともに、引き続き優良企業の誘致に取り組む。ものづくり産業活性化ネットワーク委員会では、勉強会や視察会を開催するとともに、多業種が連携してみたか太陽系ウォークの景品を製作・提供した。令和元年度も引き続き、ネットワーク構築を支援し、新たな取り組みの創出を図る。ファブスペースみたか、ミタカフェの利用者は年々緩やかな増加傾向にあり、多様な働き方へのニーズが高まっていることから、引き続き、SOHO事業者等への効果的な支援を行う。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等						予算執行	30年度予算		30年度実績			
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)								
		予算額	134,295千円		134,295千円								
		決算額			92,424千円								
		執行率(%)			68.8%								

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 <個別事業評価表>

事業名	都市農業の推進及び農地保全の取り組み	個別事業掲載No	生 — 3
-----	--------------------	----------	-------

当初計画	<p>【事業概要】 三鷹市農業振興計画2022（第2次改定）の改定については、都市農業振興基本法に基づく「地方計画」としての位置づけも持たせつつ、平成29年度に策定された東京都農業振興プランや生産緑地法及び今年度施行が予定されている都市農地の貸借の円滑化に関する法律などにおける方針や新たな取り組みなどと整合性をとった見直しを行う。 「農のあるまちづくり」を推進するため、新鮮な農産物の供給をはじめ、緑と空間の創出、災害時等の避難場所確保等の多面的な機能を有する都市農地の保全と利用の推進、並びに、農業用機器等の購入支援及び市内飲食店や学校等での市内産農産物活用による地産地消の推進等の魅力ある都市農業の育成などに取り組む。 また、親子で収穫体験等を行う都市農業を育てる市民のつどいなど、市民が農とふれあう交流事業等を開催し、都市農業の役割について理解を深める取り組みを引き続き実施する。</p> <p>【事業量】 ・農業振興計画2022（第2次改定）の改定作業 ・優良農地育成事業補助(14件)の実施 ・都市農業活性化支援事業(6件)及び農作物獣害防止対策事業の実施並びに各事業の都補助金の活用など ・都市農業を育てる市民のつどいなどの開催</p>
------	---

スケジュール	<p>4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>○農業振興計画2022（第2次改定）の改定</p> <p>○農作物獣害防止対策事業</p> <p>○都市農業活性化支援事業</p> <p>○優良農地育成事業補助</p> <p>○都市農業を育てる市民のつどい</p> <p>○芋煮会</p>
--------	--

成果目標	<p>・農業振興計画2022(第2次改定)の改定 ・農産物等の生産性の向上と近代化 ・獣害被害(件数及び被害額)の抑制 ・市民の都市農業への理解促進</p>
------	--

中間評価	<p>上半期の実績・課題等</p> <p>優良農地育成事業補助は、補助金申請の総額を按分し、19件に交付した。農作物獣害防止対策事業は、8月から害獣(アライグマ、ハクビシン、タヌキ等)の捕獲処分業務をJAに委託した。都市農業を育てる市民のつどいのブルーベリーと夏野菜の収穫体験は、7月7日に親子30組76人の参加により実施した。農業振興計画2022(第2次改定)の改定については、農地に関する一連の法制度の創設や改正を踏まえ、農業委員会、JA及び東京都など関係機関・団体とも連携を図りながら、改定作業を進めている。今後、パブリックコメント等を経ながら確定させていく。</p>
------	--

事業評価審査会 特記意見	政策会議 評価・意見等
-----------------	----------------

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする
-------	---	-----------	---	--

事後評価	<p>【事業量の実績】 ①三鷹市農業振興計画2022（第3次改定）を3月に確定。②農作物獣害防止対策事業は、タヌキ9頭及びアライグマ5頭の害獣を捕獲。③都市農業活性化支援事業は、野菜生産組合4戸にパイプハウス、養液栽培システム等の整備費の補助を実施。④優良農地育成事業補助事業は19件に補助を実施(管理機、チャッパー、スプレイヤー、トラック、耕耘機等の導入補助) ⑤都市農業を育てる市民のつどいは7月7日に76名、芋煮会は204名の参加があった。</p>
------	--

スケジュール	<p>4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>○農業振興計画2022（第2次改定）の改定</p> <p>○農作物獣害防止対策事業</p> <p>○都市農業活性化支援事業</p> <p>○優良農地育成事業補助</p> <p>○都市農業を育てる市民のつどい</p> <p>○芋煮会</p>
--------	--

成果目標の達成状況	<p>三鷹市農業振興計画2022（第3次改定）は、近年の都市農地関連法令の制定や改正等を踏まえて策定し、都市農地の保全・活用に向けた取り組みをより一層推進することとした。農作物獣害防止対策事業は、害獣の個体数を減少することができた。都市農業活性化支援事業は、野菜生産組合員4戸の農業施設の整備を支援し、農産物の生産量・品質の向上及び農業収入の増を図った。優良農地育成事業では農業施設の整備導入に対する補助を行い、経営力の強化及び農地の保存協定による農地保全推進を図ることができた。JAと共催した「都市農業を育てる市民のつどい」並びに農業委員会及び市も構成員である三鷹市都市農業市民交流協議会が主催した「芋煮会」では市民に地元農産物のPRや都市農業の役割を理解していただく取り組みを推進した。</p>
-----------	---

事業の総括(主管課)	<p>三鷹市農業振興計画2022（第3次改定）により、都市農地の保全・活用に向けた取り組みをよりきめ細かく進めることとした。農作物獣害防止対策事業では、一定の捕獲の実績を上げたが、今年度は初年度であることから、準備期間の確保により、事業開始が7月からとなったため、次年度はより早い時期に着手するよう努める。都市農業活性化支援事業はパイプハウス等補助対象施設に対する課題を整理し、今後の事業の円滑な実施に努める。農業者に対する優良農地育成事業とともに、都市農業を育てる市民のつどい及び芋煮会などの市民と農との触れ合いの場を提供する事業については引き続き実施し、「農のあるまちづくり」を推進する。</p>
------------	--

事業評価審査会 評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">予算執行</td> <td colspan="2">30年度予算</td> <td colspan="2">30年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>95,840千円</td> <td>129,895千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>121,235千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>93.3%</td> <td></td> </tr> </table>	予算執行	30年度予算		30年度実績		予算額	95,840千円	129,895千円		決算額		121,235千円		執行率(%)			93.3%	
			予算執行	30年度予算		30年度実績													
				予算額	95,840千円	129,895千円													
決算額		121,235千円																	
執行率(%)			93.3%																

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)
-------	---	-----------	---	--

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした更なる観光振興施策の推進											
個別事業掲載No		生 — 4											
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 三鷹市観光基本方針に基づき、みたか都市観光協会を中心に、市民、事業者、関係団体などが取り組む観光関連事業を支援する。特に、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、三鷹を訪れる外国人を含む観光客の受入れ環境について、サイン整備や外国人観光客向けの多言語による観光マップの作成支援など、庁内関連部署、観光協会などの関連団体や市民との連携を図りながら推進する。また、井の頭公園検定1級合格者有志で組織する「チームあか井の」をはじめとした、観光協会と協働できる市民の活動への支援のほか、設立10周年を迎えるみたか都市観光協会が行う記念事業への支援や東京都市長会の助成金を活用し、近隣市との市民交流人口の拡大を目指す武蔵野・三鷹・小金井魅力向上プロジェクト等に新たに取り組む。</p> <p>【事業量】 ・三鷹の森フェスティバルの開催（10月） ・三鷹阿波おどり大会の開催支援（8月） ・みたか都市観光協会への支援（多言語観光マップの作成等支援 設立10周年記念事業、チームあか井の活動支援含む） ・武蔵野・三鷹・小金井魅力向上プロジェクトの立上げ（4月）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○武蔵野・三鷹・小金井魅力向上プロジェクトの取り組み						○三鷹の森フェスティバルの開催 ○三鷹阿波おどり大会の開催					
	成果目標	<p>・「三鷹市観光基本方針」に基づく、市民、関係団体、市などの協働による多様な観光振興事業の推進 ・三鷹の森フェスティバル、三鷹阿波おどり大会、チーム「あか井の」のイベント等を通じた三鷹の魅力発信と市民の交流促進 ・多言語による観光マップ（20,000部）の作成 ・みたか観光案内所訪問者数の拡大 30,000人（年間）</p>											
中間評価	上半期の実績・課題等	4月に近隣三市で武蔵野・三鷹・小金井魅力向上プロジェクトを立ち上げ、交流人口の拡大を図る取り組みの1つとして、各市の市民や団体が交流する市民交流会の実施に向けて準備を進めた。また観光協会設立10周年に際し、小冊子（協会10年のあゆみ）の作成等、6つの周年事業実施に向けた支援を行った。さらに、8月18日、19日に開催された第51回三鷹阿波おどり大会の運営を支援した。											
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ること								
事後評価	【事業量の実績】	<p>・10月21日 三鷹の森フェスティバル開催 ・8月18・19日 三鷹阿波おどり開催 ・ベーシックインフォメーションマップ改定（英語、中国語）、和食マップ（ハングル）、おもてなしマップ改定（英語）各3,000部作成 ・みたか観光案内所訪問者数（平成30年度） 30,996人 ・武蔵野・三鷹・小金井魅力向上プロジェクト 連絡会議10回、プレ交流会3回開催</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○武蔵野・三鷹・小金井魅力向上プロジェクトの取り組み						○三鷹の森フェスティバルの開催 ○三鷹阿波おどり大会の開催					
		成果目標の達成状況	三鷹の森フェスティバル、三鷹阿波おどり大会、チーム「あか井の」のイベント等を通じた三鷹の魅力発信と市民の交流促進を推進した。また、みたか都市観光協会が10周年を迎えたことから、「デジタルスタンプラリー」や「三鷹の魅力発信！プロガーツアー」など観光協会が実施した6つ記念事業に対して支援を行い、みたか観光案内所訪問者数も増加した。										
		事業の総括（主管課）	10周年を迎えたみたか都市観光協会の活動支援、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした多言語化によるマップ作成やICT技術を活用した情報発信への取り組み支援などを通じて、「三鷹市観光基本方針」に基づく民学産公の連携による観光振興を図ることができた。 さらに、近隣市との市民交流人口の拡大を目指す武蔵野・三鷹・小金井魅力向上プロジェクトを4月に立ち上げ、観光に携わる市民のプレ交流会を開催した。次年度の本格実施に向けて引き続き取り組んでいく。										
	事業評価審査会評価・意見等			予算執行	30年度予算		30年度実績						
					予算額	16,157千円	16,157千円						
					決算額		16,096千円						
					執行率（%）		99.6%						
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）								

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	健康づくりやボール遊びなど市民の憩いの場としての環境センター跡地の利活用の推進	個別事業掲載No	生 — 5
-----	---	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 施設解体・土壌対策工事の本格整備については、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う工事費の高騰などにより多額の事業費が見込まれることなどから、当面見送り、その間敷地を暫定利用する。敷地の一部に健康憩い広場やボール遊び広場、広場の外周にランニング走路を整備し、平成31年3月に市民向けに開放する。また、引き続き将来的な課題である解体後の利活用について検討を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場整備に向けた設計及び既存不適格調査の実施 ・健康憩い広場、ボール遊び広場、ランニング走路等の整備 ・広場運用方法、将来の活用方法の検討 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成果目標	<p>・暫定利活用に向けた広場の設計・整備工事の完了</p> <p>・平成31年3月からの利用開始</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>環境センター敷地内の一部暫定開放に向け、広場の設計及び既存不適格調査を実施し9月までに完了した。広場の設計内容については、庁内検討推進チームにワーキングチームを設置し、ハード面・ソフト面両方において個別具体的な検討を進めた。年度末の利用開始に向け、地域住民への工事説明会の実施及び整備工事を進めるとともに、管理運営体制を引き続き検討する。</p>											
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等	<p>新川暫定広場は、暫定的な整備であることに留意するとともに、市民への周知徹底を図ること。</p>										
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	<p>1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする</p>								

事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・広場整備に向けた設計の実施 ・新川暫定広場の整備 ・現場見学会、工事説明会の実施（2回） ・既存不適格調査の実施 ・新川暫定広場の管理、利用方法の検討 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成果目標の達成状況	<p>・暫定利活用に向けた広場の設計・整備工事の完了</p> <p>・平成31年3月1日から生涯学習施設等予約システム運用開始</p> <p>・平成31年3月27日に新川暫定広場開場</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>環境センター跡地については、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控えた社会経済状況等を考慮し、当面の間、敷地を暫定利活用することとした。暫定利活用にあたっては、敷地内の約5,000㎡を新川暫定広場として、健康憩い広場やボール遊び広場、ランニング走路等を整備（設計・施工）し、平成31年3月に竣工、開場した。整備にあたり現場見学会や工事説明会を実施し、丁寧な説明に努めた。新川暫定広場の管理・運用方法については、環境センター跡地利活用検討推進チームにワーキングチームを設置し庁内横断的な検討を行い、ボール遊び広場内の球技場を生涯学習施設等予約システムを活用した予約制とし、団体登録及び予約方法等について、広報みたかや市ホームページ、チラシ等で周知を図った。</p> <p>令和元(2019)年度以降は、当面の間、新川暫定広場を運用していくことから、安全安心に配慮した運営を行う。また、将来的な利活用については、引き続き庁内検討チーム等で検討する。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行	30年度予算		30年度実績								

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	予算額	96,730千円	96,704千円
				決算額		90,212千円
				執行率(%)		93.3%

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 <<個別事業評価表>>

事業名	「サステナブル都市三鷹」の実現に向けた研究の推進	個別事業 掲載No	生 — 6
-----	--------------------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 「サステナブル都市三鷹」の実現に向け、サステナブル都市政策検討チームにおいて、サステナブル政策事業を、引き続き検討する。平成30年度は、前年度からの2つの継続検討事業について更なる検討を進める。「フードロス対策推進事業」は、「啓発」として平成30年度に食べきり運動を事業化し実施することから、もう一つの「活用」としてフードバンク事業等について試行に向けた具体的な検討を引き続き行う。「地域の生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた検討」は、エコミュージアム事業（三鷹まるごと博物館）等の既存の事業に三鷹らしい生物多様性の視点を加えたパンフレットの作成等、人と自然が互いに支え合う事業を検討する。また、検討チームメンバー等から新たなサステナブル政策事業の提案があれば検討を進める。 【事業量】 ・サステナブル都市政策検討チーム会議の開催（検討会議3回、講演会1回） ・各ワーキングチーム会議（視察を含む）を適宜開催 ・サステナブル都市政策検討チーム第7次報告書の作成	
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
	成果目標	第1回検討会議○ ○第2回検討会議 ○第3回検討会議 ○講演会 ○理事者中間報告 最終報告○ ○各ワーキングチーム会議（視察） →
成果目標	・平成29年度からの2つの継続検討事業の事業化・試行を含めた検討を進め、その結果をまとめる。 ・サステナブル都市政策検討チームメンバー等から新たな事業提案があれば検討し、その結果をまとめる。 ・平成30年度末を目途に検討結果を取りまとめ、「第7次報告書」を作成する。	

中間評価	上半期の 実績・課題等	プロジェクトチームメンバーを選定し、6月に第1回検討会議を開催した。会議では、前年度に検討を行った2つの事業の検討を継続して進めることとした。7月にはワーキングチームメンバーで第2回検討会議を開催し、今年度の検討の方向性を確認した。各チームでは、具体的な事業化に向けた検討を進めている。下半期では、各チームでの検討をさらに進め、成果を報告書にまとめる。		
	事業評価 審査会 特記意見	研究テーマについては、現在の市の課題等を整理した上で、早急に選定することが望ましい。	政策会議 評価・意見等	フードロス対策推進事業については、これまでの課題等を整理し、一層の推進を図ること。今後の新たな取り組みについては慎重に検討すること。
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1

事後評価	【事業量の実績】 ○サステナブル都市政策検討チーム（検討会議：3回開催 講演会：1回開催） ○各ワーキングチーム会議 ・「フードロス対策推進事業」：会議開催4回、視察・ヒアリング5回（平成30年度検討終了） ・「地域の生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた検討」：会議開催3回（平成30年度検討終了） ○平成30年度の検討結果をサステナブル都市政策検討チーム第7次報告書に取りまとめた。												
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月											
	成果目標の 達成状況	①「フードロス対策推進事業」では、フードロスの現状把握及び課題整理をするとともに、フードバンク事業の実現に向け、先進自治体やフードバンク団体などの視察などを行い、取扱品目、予算規模、活用可能な補助制度等を具体的に把握することができた。 ②「地域の生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた検討」は、エコミュージアム事業（三鷹まるごと博物館）に、生物多様性の視点を加え啓発を行い、複数の効果を生み出す方法を考えた。											
	事業の総括 （主管課）	「フードロス対策推進事業」はフードバンク事業について、市民・団体（「フードバンクみたか」等）、社会福祉協議会、事業者と協働で取り組むことにより、「フードロス削減」や「食のセーフティネット確保」といった課題解決を図っていく。 「地域の生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた検討」については、エコミュージアム情報誌「みいむ」をとおして普及啓発を図り、人と自然が互いに支え合う三鷹市の実現を目指していく。 平成29・30年度の2箇年にわたり検討を進めてきた2事業については、事業化と今後の取り組みの方向性が示されたことから、検討を終了とする。 また、サステナブル都市政策検討チームについては、第7次報告書を取りまとめた。なお、検討チームについては、平成30年度をもって終了とする。											
	事業評価 審査会 評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算 執行</td> <td>30年度予算</td> <td>30年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>37千円</td> <td>37千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>30千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td></td> <td>81.1%</td> </tr> </table>	予算 執行	30年度予算	30年度実績	予算額	37千円	37千円	決算額		30千円	執行率(%)	
予算 執行	30年度予算	30年度実績											
	予算額	37千円		37千円									
	決算額			30千円									
	執行率(%)		81.1%										
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	便利で楽しく買い物をすることができる環境の整備												個別事業 掲載No	生 — 7		
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 公募等によって選定された協議会（商店会単位）が各地域の特性に合わせた事業を行うにあたり、市を含む関係7団体で構成する買物支援事業本部が支援を行う。また、各協議会の活動内容やノウハウの共有を図るとともに、商店数が少ない大沢地域について、従来からの商店街振興のアプローチに加えて、市の福祉部局や地域ケアネット等の地域団体、コンビニ・生協等の地域の実情に詳しい事業者等とも幅広く情報共有を進め、市民や事業者による支えあいの仕組みを活かしながら、共同購入・宅配など既存サービスの周知と利用促進、買物応援キャラバン隊等を活用したマルシェの開催など、遠方への外出が難しい買物困難者への支援も視野にいれた買物環境の整備を支援、推進する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 買物支援本部会議の開催（2回） 各協議会事業の支援 地域団体等と連携した本部事業の検討・実施 大沢地域における買物環境の整備支援 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 消費者的利便性向上及び地域商店会の活性化 大沢地域における多様な買物支援策の導入支援による買物環境の充実 														
中間評価	上半期の実績・課題等	6月に第1回買物支援事業本部会議を開催し、平成30年度の取り組みを決定した。新たな本部事業として、大沢地域において宅配サービスの説明会を実施することとし、開催に向けて地元の商店会や事業者による事業説明を行うとともに、地域ケアネットワーク・大沢等の地域団体や市の地域福祉課とも情報共有を進めた。また、各協議会の情報交換の場となる発表会及び交流会の11月開催を目指して準備を行っている。														
	事業評価審査会特記意見														政策会議 評価・意見等	買物支援事業について、より効果的な取り組みとなるよう検討を進めること。
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする											
事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> 買物支援本部会議開催 2回 10月15日 本部事業として、地域ケアネットワーク・大沢と連携して宅配サービス説明会開催 11月7日 各協議会による買物支援事業情報交換会開催 12月17日 本部事業として、地域ケアネットワーク・大沢と連携して三鷹駅南口周辺視察実施 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	成果目標の達成状況	<p>協議会事業（連じやく朝市開催4回、消研だいいち開催11回、あおやぎ市開催4回、三鷹台100円商店街3回）への支援を行い、消費者と商店の相互理解や利用促進が図られた。</p> <p>そのほか、本部事業として、商店数が少ない大沢地域については、地域ケアネットワーク等の地域団体や庁内福祉部署と連携して、生協や地元商店による宅配サービス説明会や他地域商店会との連携を目指した現地視察などを行い、多様な買物支援策の検討を行った。</p>														
	事業の総括（主管課）	協議会が実施する事業への支援と買物支援本部が直接実施する事業を併せて行うことにより、地域商店会の活性化と消費者的利便性向上に努めた。また、平成29年度以降、地域ケアネットワーク・大沢とともに民間の移動販売車の導入可能性や宅配サービスの積極的な活用についても検討してきたが、市民の要望する買物支援策は、地域特性に加え身体状況や家族構成によっても異なることから、多様な買物支援策の導入や地域全体の気運醸成を図ることが重要であるということも確認された。次年度以降も引き続き地域団体、事業者、庁内福祉部署等と連携して買物環境の整備を推進する。														
	事業評価審査会評価・意見等														予算執行	30年度予算
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）										予算額	3,841千円	3,841千円
														決算額		3,841千円
														執行率（%）		100.0%

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		「食べきり運動」の推進をはじめとしたごみの発生・排出の抑制										個別事業掲載No	生 — 8																																				
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 近年、世界的に課題となっている本来食べられるにも関わらず廃棄される食品（フードロス）について、ごみの発生・排出抑制の観点から、市民・事業者・庁内に向けた「食べきり運動」の取り組みを、ごみ減量等推進会議や関係機関等との協働により各種キャンペーン、「食べきり運動協力店等」の募集・認定や様々な啓発活動などを活用して新たに実施する。また、東京2020大会組織委員会等が主催する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に協力し、イベント時や回収場所の拡充などにより、さらなる小型家電の回収を推進する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民、事業者、庁内への「食べきり運動」の啓発 食べきり運動協力店等の募集、認定 ごみ減量等推進会議の開催（年3回） 各種キャンペーンの実施（年6回） 																																															
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																				
		<p>【ごみ減量等推進会議】</p> <p>○代表者会議 ○代表者会議 ○視察 ○総会</p> <p>【キャンペーン等】</p> <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p> <p>食べきり運動の啓発、分別・ごみ出しルールの周知、ごみ分別アプリの周知</p>																																															
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 「食べきり運動」の推進、食べきり運動協力店等の認定 10店舗 ごみ分別アプリのダウンロード件数 累計11,000件 一人一日あたりのごみ総排出量 690g 小型家電回収量 2,100kg 																																															
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>食品ロス（フードロス）の削減に向け、5月30日のゴミゼロの日より「三鷹市食べきり運動」を開始し、各種キャンペーンやエコミュージカル等で啓発活動を実施した。さらなる食品ロスの削減に向け、8月から食べきり運動協力店等（飲食店、小売販売店、宿泊施設、事業所、教育・研究機関等）の募集を開始した。</p> <p>ごみ分別アプリのダウンロード数は、4月から7月の4か月で1,418件、累計8,651件となった。「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に関連した小型家電の回収では、4月から7月の4か月で携帯電話124.0kg、その他家電742.5kg、合計866.5kgとなった。</p>																																															
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p> <p>「三鷹市食べきり運動」協力店の募集については、太陽系ウォーク等との連携を図るなど、市内飲食店に積極的な協力要請を行うこと。</p> <p>ごみ分別アプリについては、ホームページに掲載するなど、更なる普及促進を図ること。</p>																																															
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																																											
事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> 食べきり運動の実施、協力店の募集、認定（13店舗） 各種キャンペーン等の実施 ごみ減量等推進会議の開催（代表者会議：4月、8月、総会：3月） 																																															
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																				
		<p>【ごみ減量等推進会議】</p> <p>○代表者会議 ○代表者会議 ○視察 ○総会</p> <p>【キャンペーン等】</p> <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p> <p>食べきり運動の啓発、分別・ごみ出しルールの周知、ごみ分別アプリの周知</p>																																															
	成果目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 「食べきり運動」の推進、食べきり運動協力店等の認定 13店舗 ごみ分別アプリのダウンロード件数 累計11,542件 一人一日あたりのごみ総排出量 692g 小型家電回収量 2,806kg 																																															
	事業の総括（主管課）	<p>本来食べられるにも関わらず廃棄される食品（フードロス）を削減するため、平成30年5月30日（ゴミゼロの日）から「三鷹市食べきり運動」を開始し、ごみ減量等推進会議や市民ボランティア等と協働して各種キャンペーン等で市民に啓発した。事業者との協働により食べきり運動をさらに進めるため、同年8月より「三鷹市食べきり運動協力店」の募集を開始し、13店舗を認定した。また、食べきり運動の実施にあたっては、「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業補助金」を活用した。小型家電の回収においては、東京2020大会組織委員会等が主催する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に協力した取り組みを推進した。</p>																																															
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">予算執行</th> <th colspan="4">30年度予算</th> <th colspan="4">30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td colspan="4">5,504千円</td> <td colspan="4">5,504千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4">4,198千円</td> </tr> <tr> <td>執行率 (%)</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4">76.3%</td> </tr> </tbody> </table>													予算執行	30年度予算				30年度実績				予算額	5,504千円				5,504千円				決算額					4,198千円				執行率 (%)					76.3%			
予算執行	30年度予算				30年度実績																																												
	予算額	5,504千円				5,504千円																																											
	決算額					4,198千円																																											
執行率 (%)					76.3%																																												
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																												

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 <<個別事業評価表>>

事業名		「三鷹市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）」の策定											個別事業 掲載No	生	—	9																											
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 「三鷹市地球温暖化対策実行計画（第3期計画）」が計画期間の満了を迎えるため、新たな12年間（平成31年度から令和12(2030)年度）の計画期間と削減目標を定めた「三鷹市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）」（以下「第4期計画」という。）を策定する。 第4期計画は、国の「地球温暖化対策計画」の削減目標を踏まえ、区域施策編と事務事業編をあわせた実行計画とする。策定に当たっては、国の「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業）」を活用するとともに、環境保全審議会での審議、パブリックコメントの実施など、幅広く市民の意見を聴きながら取り組みを進める。</p> <p>【事業量】 ・三鷹市環境保全審議会の開催（3回開催予定） ・補助金申請 ・パブリックコメントの実施（1回） ・第4期計画の策定作業</p>																																									
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																														
		○補助金公募申請・採択 ○補助金交付申請・交付決定						○第1回審議会（諮問）			○第2回審議会 ○第3回審議会（答申）			○パブコメ 実績報告○ → ○計画確定																													
成果目標	国が定める目標に準じた温室効果ガス排出量の削減目標及びカーボン・マネジメント体制（CO2排出削減のための取組の評価・改善を全庁的かつ定期的に実施するための体制）を定めた計画の策定																																										
中間評価	上半期の実績・課題等	7月に補助金が交付決定されたことを受け、8月には策定支援業務の業者と契約を行い、策定業務を開始した。計画策定に向け、情報収集や算定施設の検討等を行った。下半期では、削減目標と削減策を定めた計画の確定に向けてさらに検討を進める。策定にあたっては、環境保全審議会での審議、パブリックコメントの実施など、幅広く市民の意見を聴きながら取り組みを進める。																																									
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等																																									
	主管課評価	2	事業評価審査会評価				2	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																																			
事後評価	【事業量の実績】	○補助金申請：平成30年7月9日：交付申請、7月27日：交付決定、平成31年3月8日：補助金実績報告 ○環境保全審議会開催：11月20日：第1回三鷹市環境保全審議会（諮問）、3月20日：第2回三鷹市環境保全審議会（答申） ○パブリックコメント募集：平成30年12月17日～平成31年1月11日（3人、27件の意見） ○3月末第4期計画確定																																									
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																														
		○補助金応募申請 補助金交付申請・決定 →						第1回審議会（諮問）○			第2回審議会（答申）○ 補助金実績報告○			パブコメ開始○ → ○パブコメ終了 → 計画確定○																													
	成果目標の達成状況	国の「地球温暖化対策計画」に掲げる温室効果ガスの削減目標（2030年までに2013年度比26%削減、地方公共団体を含む業務・その他部門は2013年度比約40%削減）とほぼ同程度の削減目標を設定するとともに、目標の達成に向けたカーボン・マネジメント体制を検討し、三鷹市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）を策定した。																																									
	事業の総括（主管課）	<p>「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、4期目となる三鷹市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）（以下「第4期計画」という。）を策定した。第4期計画は、12年間（令和元(2019)年度から令和12(2030)年度）の計画期間とし、国の「地球温暖化対策計画」とほぼ同程度の削減目標を設定した。</p> <p>区域施策編では、令和12(2030)年度までに平成25(2013)年度比21.7%の削減（2030年度に電気の排出係数が0.37kg-CO2/kWhとなった場合、33.0%の削減） 事務事業編では、令和12(2030)年度までに平成25(2013)年度比24.0%の削減（2030年度に電気の排出係数が0.37kg-CO2/kWhとなった場合、40.7%の削減） また、既存の「省エネルギー推進委員会」と既に確立された「環境マネジメントシステム」に基づく、横断的で多層的なPDCAサイクルを有するカーボン・マネジメント体制を構築し、温室効果ガス削減目標の達成に向けた取り組みを推進していく。</p>																																									
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">予算 執行</th> <th colspan="3">30年度予算</th> <th colspan="3">30年度実績</th> </tr> <tr> <th>予算額</th> <th colspan="2"></th> <th>6,595千円</th> <th colspan="2"></th> <th>6,595千円</th> </tr> <tr> <th>決算額</th> <th colspan="2"></th> <th></th> <th colspan="2"></th> <th>5,212千円</th> </tr> <tr> <th>執行率（%）</th> <th colspan="2"></th> <th></th> <th colspan="2"></th> <th>79.0%</th> </tr> </thead> </table>															予算 執行	30年度予算			30年度実績			予算額			6,595千円			6,595千円	決算額						5,212千円	執行率（%）						79.0%
予算 執行	30年度予算			30年度実績																																							
	予算額			6,595千円			6,595千円																																				
	決算額						5,212千円																																				
	執行率（%）						79.0%																																				
主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																				

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 <<個別事業評価表>>

事業名	三鷹「まち活」塾の拡充とNPO法人みたか市民協働ネットワーク設立10周年等記念事業の実施	個別事業掲載No	生 — 10
-----	--	----------	--------

当初計画	【事業概要】 みたか市民協働ネットワークと三鷹ネットワーク大学推進機構との協働により、地域人財の育成として、三鷹「まち活」塾（第2期）の実施に加え、修了生が地域活動を継続して実践できるよう、新たにフォローアップ講座を開催するとともに、自主グループへの支援を行う。また、NPO法人みたか市民協働ネットワーク設立10周年及び市民協働センター開設15周年を迎えることから、記念事業として講演会を開催する。
	【事業量】 ・講座の実施(全8回) ・修了生を対象にフォローアップ講座の実施 ・継続活動を行う自主グループへの助成金支出 ・記念事業として講演会を実施
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○講座①②③④まち体験⑤ ⑥⑦ ⑧ ○フォローアップ講座 ○自主グループへの活動支援（通年） ○評価・検証 ○法人設立10周年等記念講演会
成果目標	・地域活動を実践する修了者30人 ・フォローアップ講座参加者40人 ・助成金対象自主グループ10団体 ・記念講演会参加者100人 ・修了生による市民活動や市民参加の担い手としての活躍

中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールどおり講座を実施している。 ・定員30人のうち申込者25人でスタートしたが、受講者の多数が修了(全8回中6回以上出席)予定である。 ・記念事業については、実行委員会を組織し検討を進めている。 		
	事業評価審査会特記意見		政策会議 評価・意見等	
	主管課評価	2	事業評価審査会評価	2

事後評価	【事業量の実績】 ・三鷹「まち活」塾（第2期）については、全8回の講座を開催するとともに、新たに、修了生を対象にフォローアップ講座の実施及び自主グループへの助成金制度を創設した。 ・NPO法人みたか市民協働ネットワーク設立10周年・三鷹市市民協働センター15周年記念シンポジウムを12月8日に開催した。																	
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○講座①②③④まち体験⑤ ⑥⑦ ⑧ ○フォローアップ講座 ○自主グループへの活動支援（通年） ○評価・検証 ○法人設立10周年等記念講演会																	
	成果目標の達成状況	・地域活動を実践する修了者16人 ・フォローアップ講座参加者14人 ・助成金対象自主グループ延べ11団体 ・記念講演会参加者150人 ・修了生による市民活動や市民参加の担い手としての活躍																
	事業の総括(主管課)	三鷹「まち活」塾（第2期）については、みたか市民協働ネットワークと三鷹ネットワーク大学推進機構との協働により、地域人財の育成として、スケジュールどおり実施し、上記の成果も挙げた。次年度も第3期を開催し、地域の課題を解決する、持続可能な自主グループへの支援や市民参加の担い手を養成する仕組みに取り組むこととする。 また、NPO法人みたか市民協働ネットワーク設立10周年・三鷹市市民協働センター15周年を経て、次の節目に向けて、「つなぐ」「ささえる」「つむぎだす」3つの機能のさらなる拡充を図ることとする。																
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td colspan="2">30年度予算</td> <td colspan="2">30年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>1,180千円</td> <td>1,208千円</td> <td>1,208千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td></td> <td>1,208千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	予算執行	30年度予算		30年度実績		予算額	1,180千円	1,208千円	1,208千円	決算額			1,208千円	執行率(%)		
予算執行	30年度予算			30年度実績														
	予算額	1,180千円		1,208千円	1,208千円													
	決算額				1,208千円													
	執行率(%)			100.0%														
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)														